

■華穂ちゃんレッスン Track 1 〓女の子との話し方〓

○場所…自宅・部屋(兄) 時間…夜(21時頃) 人物…華穂

(SE ..ノック音)

//ドア越しに呼びかけ 編集で少しくぐもった風に

001「おにいちゃんっ、部屋入るよ〓」

//くぐもり終了

(SE ..ドア開け音)

002「もうう、お兄ちゃんったら…まゝた勉強してたの?」

(SE ..足音 フェードイン)

003「どれどれ、

『恋愛心理学〓これだけ抑えれば彼女ができる魔法の法則10選〓』

〱次セリフ以降 指示があるまで 少し小ばかにした風で

004 「へええ〜っ？ お兄ちゃんってえ…難しいのだけじゃなくて…

こんな本も読むんだ〜、あはあっ♪」

005 「華穂お〜、お兄ちゃんにちゃ〜んと…恋愛感情があって嬉しいな〜」

006 「ねえ、お兄ちゃん？ お兄ちゃんって今まで彼女、いたことってあるの？」

007 「ふふっ、ないよね〜。華穂、お兄ちゃんのこと割と見てるつもりだけど〜」

008 「お兄ちゃん今までそんな素振り…一度も見せたことないしい〜」

〱次セリフ お兄ちゃんに抱き着く

(SE ..抱きつく音)

009 「なにより…ほらあつ、こうして華穂が〜ギュ〜ってしただけでえ、

お兄ちゃんの身体…もうガチガチになっちゃってるじゃない」

010 「もう、お兄ちゃんって実の妹にそんなじゃあ、

他の女の子にこんなことされたらあゝ、どうなっちゃうんだろうね」

／＼小ばかにした風　ここまで

／＼お兄ちゃんのことを割と心配してる風に　指示があるまで継続

011 「お兄ちゃん…そんな本ばっか読んでても、

いつまで経っても彼女できないよ？」

012 「本当はお兄ちゃんも分かってるんじゃないの？

このままじゃダメだってこと」

013 「いゝい？　お兄ちゃん？

華穂はね、お兄ちゃんには幸せになってほしいって…本気で思ってるんだよ？」

014 「だから、こんな風にわざわざ発破をかけてあげてるんじゃない」

015 「もう、しょうがないお兄ちゃんだなあっ」

016 「お兄ちゃん…来年はもう社会人だし、

きつとこのままじゃ一生独り身の人生だよ？」

017 「もしそんなことになったら、

お兄ちゃんだゝれにも愛されないまま終わっちゃうよ？」

018 「華穂…そんな可哀想なお兄ちゃん、見たくないよ」

／／心配してる風な演技　ここまで

019 「だからあ…お兄ちゃん、

華穂で女の子に慣れる…れ・ん・しゅ・う、してみない？」

020 「これは、このままじゃ生涯独身になりそうなお兄ちゃんを心配する、

優しゝい妹からのプレゼント」

021 「華穂…学校でかなりモテる方だし、

お兄ちゃんよりは恋愛に詳しいと思うよ？」

0 2 2 「ねえ…お兄ちゃん、どうかな？」

お兄ちゃんにはテスト前とか勉強助けてもらってるし、

華穂から何かお礼ができたならな…って…思ってたんだけど」

0 2 3 「ふふっ、華穂お…と…つてもできた妹じゃない？

お兄ちゃんのことを思って…ここまでしてあげる妹、なかなかいないよ？」

／＼少し間(3～5秒)

0 2 4 「やるんだ♪ それじゃあ、今日からお兄ちゃん改造計画けっ…い！」

0 2 5 「華穂おー、お兄ちゃんが女の子に慣れるように、

た…くさん特訓したげるからね」

0 2 6 「お兄ちゃんも華穂を…本当の恋人だと思って、

色々試しちゃってもいいからね♪」

0 2 7 「それじゃあ…お兄ちゃん、

さっそくだけど…華穂の目を…じ…つと見つめてみよっか♪」

028 「ああっ…だゝめ、お兄ちゃんっ…目をそらさないで？」

女の子とうまく話す基本は…まず目を見て話すところからだよ」

029 「お兄ちゃんには華穂があ、

恋愛を一から…『実技』で教えてってあげるからあ」

030 「お兄ちゃんは華穂の言うとおりにしてね」

031 「はいっ、じゃゝあゝ、

華穂の目を見て、じゝつと…そう…目はそらさずにゝ」

032 「ふふっ、最初はこうしてるの恥ずかしいよねゝ」

033 「でもでも、こうして落ち着いて女の子のこと見てみると、案外ふつうでしょ？」

034 「なゝんにも…難しい事なんてないんだよ？」

お兄ちゃんはただ自分で勝手に色々考えちゃって…自滅してるだけ」

035 「男の子と話すときみたいにな、

リラックス…リラックス、はい…肩の力抜いてゝ」

036 「そうっ、深呼吸…深呼吸… 吸って…、はいて…、吸って…、はいて…っ」

／＼ちゃんと出来たお兄ちゃんをたくさん褒めてあげる

037 「うんっ、お兄ちゃん…おめでと〜う！ 華穂の目、ちゃ〜んとして見たね」

038 「えらい、えらい〜。お兄ちゃん、えらいねえ〜」

039 「たしかに華穂はお兄ちゃんの妹だけど、

でも…華穂は結構可愛い方だと思うよ？」

040 「だから、華穂の目をじ〜つと見れたお兄ちゃんなら、

きっと他の女の子とも上手くお話できると思うよ♪」

041 「お兄ちゃん、今日の華穂ちゃんレッスンはここまで、よくできましたあ〜」

042 「パチパチパチパチ〜っ」

／＼読み方…コミュニケーションよく

043 「そうっ♪ これからお兄ちゃんは、

華穂ちゃんレッスンでコミュニケーション爆上がりするんだからっ」

044 「それじゃあ、この後は可愛い妹、華穂ちゃんからあ、

頑張ったお兄ちゃんにご褒美がありまっすっ」

045 「おにーちゃんっ？ 華穂…お兄ちゃんのために頑張るから、

これからもっと、もっとと女の子に慣れていこうね♡」

■通常パート 終了

■Track 1 有料枠 プレイ内容…手コキ

○場所…自宅・部屋(兄) 時間…夜(22時頃) 人物…華穂

046 「やつほゝお兄ちゃん♪」

047 「華穂にい…お兄ちゃんの実の妹にご褒美もらいたくってえ、

ここまできちゃったんだね?♡」

048 「この、へ・ん・た・いつ。あはあっ♪」

049 「でも…お兄ちゃんだって男の子だもんね。

そりゃあ…華穂みたいな可愛い妹と一つ屋根の下、興奮くらいして当然だよね」

050 「むしろ、お兄ちゃんがあれば欲情しなかったら、

華穂…ほんとにお兄ちゃんの将来が心配だったよ」

051 「それじゃあ、今日の華穂ちゃんからのご褒美のゝ、

手・コ・キ、したげるねゝ♡」

052 「ああっ…お兄ちゃんはじっとしててね、お触り禁止。

これは華穂から頑張ったお兄ちゃんへのご褒美なんだから」

(SE ..ズボン上から股間を擦る 速度..ゆっくり ループ)

053 「まずは、ズボンの上からあゝ、すり…すりゝ すり…すりゝつ。

ふふっ…お兄ちゃんのおちんちん、すり…すりゝ…すり…すりゝつ」

054 「お兄ちゃん、女の子にこんなことされたの初めてでしょ？」

055 「妹とはいえ…どう…お兄ちゃん？

年頃の女の子の手だよ…柔らかいでしょ」

056 「ふふっ…ズボンの上からでもおゝ、手の感触気持ちいいんだあ、あはあっ♪」

／華穂も次第に興奮してくる。吐息、徐々に熱っぽくなる

057 「すりすり…すりすりすりゝ はあ…はああ、

ズボンの上からあゝ…おちんちん…すりすり…すりすりゝつ」

058 「ああっ…お兄ちゃんのおちんちん、勃起してきたね」

059 「凄く熱もってる…はあ…はあ…妹の手でされてえ、

興奮してきちゃったんだあ」

060 「すりすり…すりすりすり…はあはあ…すりすりすり…っ、

ほらあ…どんどん硬くなってきたよおっ？」

061 「すりすり…すりすりすり、はあ…はあ、すりすり…すりすりすりすり…っ」

062 「こうして…んんうっ、

男の人のおちんちん…勃起してくの見るのは初めてだけどおっ…はあ…はあ」

063 「お兄ちゃんのおちんちん、

子どものころはあんな豆粒みたいに小さかったのになあ」

064 「今じゃ、こんなにおっきくなっちゃってえ、いやらしんだあ♡」

065 「そろそろに、ズボンの上からでも分かるくらいに、すごい熱いし、

はあ…はあ…なによりもかったあ♡い♪」

066 「男の人のおちんちんってえ、こんなになるもんなんだ」

／次セリフ 少しからかうように あざとく演技 指示があるまで継続

067 「もう…ズボンの中、おちんちん…パンツパンに膨れ上がっちゃって、

すごい苦しそうだし、そろそろ脱がしてあげよっかなあ」

068 「ほら…お兄ちゃん、ズボン…脱ぎたいよね？」

そういう時はなんて言うんだっけ？」

069 「ほらっ。華穂ちゃん…ズボンぬぎぬぎしてえって、おねだりしなきゃ」

／少しからかうように あざとく演技 ここまで

(SE ..ズボンの上から擦る音 ループ 終了)

／少しの間 3～5秒

070 「ふふっ、よく言えましたあ♡」

071 「きゃあっ!? お兄ちゃんの興奮しすぎなガツチガチおちんちん…

ごたいめ〜ん♪」

072 「わ、すっごいね…お兄ちゃんの。こんな立派なモノ持ってるのに、

今まで一人も女の子のこと…気持ち良くさせたことないおちんちん、かわいそお」

073 「華穂お、

お兄ちゃんのかっこいいおちんちん見て…びっくりしちゃったよお」

／次セリフ以降 指示があるまで あざとい演技 開始

074 「それに、お兄ちゃんのオスの匂いに…興奮してきちゃったあ♡」

075 「さっきから…華穂のおまんこ…キュンキュンしちゃってる」

076 「たぶんもう…グチヨグチヨだよ?」

077 「ああ〜っ…お兄ちゃん今…華穂のえっちい姿…想像したでしょ」

078 「おちんちん…ビクツて跳ねて…さっきよりもおつきくなったもん」

079 「んふふっ、

お兄ちゃんってば…早く華穂にしこしこしてほしくてたまないねえ？」

080 「しょうがないなあ」 お兄ちゃん今日は頑張ったし、

華穂ちゃんが…変態お兄ちゃんのおちんちん…慰めてあげるね♡」

(SE…手コキ音 水気…なし 速度…ふつう ループ)

081 「しこしこ…しこしこしこ…はあはあ、しこしこ…しこしこしこしこ♡」

082 「ふふっ、お兄ちゃん…華穂がしこしこ…ってしたげる度に、

身体びっくんびっくんさせちゃって」

083 「そんなに女の子の手でされるの…気持ちいいんだあ♪」

084 「でもしょうがないよねえ、お兄ちゃん…童貞なんだもんねえ？」

085 「こんな気持ちいいこと、華穂以外の誰もしてくれないもんねえ？♡」

086 「そうっ…今お兄ちゃんのおちんちん、

しこしこしてあげてるのは…お兄ちゃんの実の妹♡」

087 「お兄ちゃんは彼女がないから、

いつもしこしこしこしこして、自分でしてるだけだったけどお」

088 「今日は超可愛い妹の華穂があゝ、

お兄ちゃんのおちんちん、しこしこ…しこしこしてあげてるの」

089 「しこしこしこ…しこしこしこしこ、

んんう…はあはあ…しこしこしこ…しこしこしこしこしこ♡」

(SE ..手コキ音 水気..なし 速度..ふつう ループ 終了)

090 「あああゝっ…おちんちんから我慢汁出てきたあっ…おにいちやあん…妹に
されてえ…おちんちん感じちゃってるんだあ」

(SE ..手コキ音 水気..普通 速度..ふつう ループ)

091 「しこしこしこっ…しこしこしこおっ♡

はあはあ…しこしこしこ…しこしこしこしこっ

092 「気持ちいいねえ？ 女の子にしこしこしこっって言われながら、

自分とは違う手で…速度でおちんちんしごかれるの、気持ちいいよねえ」

093 「当たり前だよねえ、だって華穂はお兄ちゃんの妹だもん」

094 「華穂お…お兄ちゃんの考えてるコトだったり、

気持ちいいだろうなあ…ってトコはだいたい分かるもん」

095 「だって、お兄ちゃん反応がすっごい分かりやすいし♪」

096 「やっぱりい、華穂とお兄ちゃんは兄妹だから…身体の相性いいのかもね」

097 「んうっ…はああ、しこしこ…しこしこしこっ♡」

098 「気持ちいいっ？ 気持ちいいよねえっ？

妹に任せっきりで…おちんちんしこしこされてえ、

こんなの気持ちいいに決まってるよね♡」

099「いいよおゝ…お兄ちゃん…はあはあ、もつと感じてゝ？」

これはあゝ…華穂からお兄ちゃんへのご褒美…なんだからあゝ」

(SE..手コキ音 水気..多め 速度..速い ループ)

〳セリフ間の「間」も、射精に向けて気持ち速めで 開始

100「しこしこ、しこしこしこつ、んうつ、はあっ、しこしこ、しこしこしこ♡」

101「ほらっ、ほらほらあっ！ だんだんペースが速くなってきたあ」

102「お兄ちゃんを感じ具合ながら速度調整してるんだけどつ、

今お兄ちゃん…すゝっごい我慢してるでしょ…あはあっ♡」

103「華穂ゝ、わかつちやうんだあつ、

お兄ちゃんがすごい気持ちいいの我慢してるの」

104「しこしこって可愛い妹にされてえゝ、

お兄ちゃんもうイっちゃいそうなんだよね？♡」

105 「さっきから足ピーンって力入って、そんなに齒あ食いしばって、

必死に射精を我慢してる」

106 「でもおー、もうー、限界なんだよね？♡」

107 「いいよお？ 出してえー？♡ 妹におちんちんごしごしされながらあ、

あああつ、あああつって喘ぎながら、精液たくさん出しちゃうとこ見せてえ♡」

108 「華穂お…お兄ちゃんが射精するところ、みたいなあー」

109 「ほらっ、ほらあつ、しこしこしこ、しこしこしこしこ、

しこしこ、しこしこしこつ、いっちゃえ、ほら、いっちゃえ！」

110 「実の妹におちんちんごしごしされてえ、気持ち良く射精しちゃえーっ！」

／＼少しの間(この間に速めで手コキ音を継続して流す)

111 「はあ…はああ♡ お兄ちゃん、いくの？ いっちゃうの？

いいよお？ お兄ちゃんの真っ白な精液、たくさんびゅっびゅしてーっ？♡」

(SE .. 手コキ音 水気..多め 速度..速い ループ フェードアウト)

(SE .. 射精音)

1 1 2 「あああああっ♡♡ 出て、るうううつつ！ んんううつ！

お兄ちゃんの童貞おちんちんからあゝ、たくさん精液出ちゃってうううつ！」

1 1 3 「はああっ…はあああっ♡ ちょっ、まだ出るのおっ？

お兄ちゃん精液溜めすぎでしょっ」

1 1 4 「ひやあっ…ちょっ、顔にかかっちゃ、あああんっ…はああっ…はああ♡

／＼少し間

／＼大量に出した兄に対し、少し呆れている華穂

1 1 5 「ちよつとゝ、お兄ちゃん！？

華穂…たしかにお兄ちゃんの射精見てあげるって言ったけど、

こんなに出すなんて聞いてないんだけど！！？」

1 1 6 「もううっ、お兄ちゃんのえっち！　へんたいっ！　どうていつ！

……ふふっ、な〜んてね、一度言ってみただけ♪」

1 1 7 「でもお兄ちゃん、そんなに妹の手が気持ち良かったの？」

1 1 8 「ふふっ…そうだね、気持ち良くないと…こ〜んなに精液出ないもんね？♡」

1 1 9 「よかったね、お兄ちゃん♪　妹の手で、手コキ童貞卒業できて」

1 2 0 「お兄ちゃん夢だったんだよね？　女の子にこういうことされるの」

／／あざとい演技　開始

1 2 1 「あ〜あ〜っ？　お兄ちゃんの部屋、す〜っごくイカくさあ〜いっ♪」

1 2 2 「もうう、お兄ちゃんがこんなに精液出すからだよ？」

1 2 3 「さすがに精液のお掃除はお兄ちゃんがしてね、自分で出したんだから」

1 2 4 「華穂は顔にかかっちゃったの、綺麗にするから」

／＼華穂 顔にかかった精液をすくい取って舐める

125 「ペロッ…ふふっ、見た目どおり濃厚で…すごい変な味」

／＼ジト目

126 「あゝっ？♡ もしかしてお兄ちゃん、

華穂がお兄ちゃんの精液ペロッてしたの見てえゝ、興奮…してきちゃったの？」

127 「あららっ、また勃起してるし。でも、今日はもうおしまい」

128 「あとは華穂とのエッチ思い出して自分でしてね♪」

129 「おやすみ…お兄ちゃん」

130 「明日からまた、華穂との特訓頑張ろうねっ♪」

■Track 1 終了

■華穂ちゃんレッスン Track 2 ～聞き上手になろうっ♪～

○場所…自宅・部屋(兄) 時間…夜(21時頃) 人物…華穂

001 「お兄ちゃん…今日もかわいいかわいい妹の華穂があゝ、

お兄ちゃんに恋愛テク…教えたげるねえ」

002 「今日のテーマはゝ、ぎ・つ・だ・ん、についてだよお」

003 「お兄ちゃんさあ、普段難しい本ばゝっかり読んでるから、

最近の流行りとか全然わかんないでしょゝ」

004 「はあああ、お兄ちゃんが上手く女の子と会話が弾まないのはあ、

そういうトコだと思うよおゝ…華穂はあ」

005 「でゝもゝ…お兄ちゃんはあるまりトレンドとか興味ないんだもんねゝ」

006 「それじゃあ、一から情報追っていくのも大変だよね♪」

007 「そゝんな堅物お兄ちゃんに華穂ちゃんから朗報ですっ」

008 「お兄ちゃんはある、これから聞き上手を目指しましょう♪」

009 「えーっとね…お兄ちゃんは分かんないだろうから解説すると」

010 「お兄ちゃんは女の子の話に…うんっ…うんって…頷いてればいいの、

ねっ…簡単でしょっ？」

011 「うんっ…ほんととそれだけ」

012 「お兄ちゃんさあ、華穂と会話してる時もそうだけど、

好きな話題になると周り見えなくなっちゃう癖あるじゃん？」

013 「あれ…あんまり女の子的によくないと思うなあ」

014 「だからさ？　まずは華穂と練習してみようよ」

015 「はいっ…じゃあ、華穂がお兄ちゃんに話題振るけど、

お兄ちゃんはただ…うんっ、うんって…反応すればいいからね？

余計な事しないでいいからっ」

〱次セリフ以降 お兄ちゃんを小ばかりにする演技 開始 指示があるまで継続

016 「ね〜え〜…お兄ちゃあんっ、

お兄ちゃんってさあ…なんで彼女…いないの〜？」

017 「お兄ちゃんってあんまりモテなそうだしね、しょうがないよね〜」

018 「こ〜んなお兄ちゃんの面倒見てくれる子なんて…妹ぐらいだもんねえ〜」

019 「ね〜え…お兄ちゃん、お兄ちゃんって実際、華穂のこと…どう思ってるの？」

020 「ただの妹？ ほんとにほんと〜？」

021 「華穂お〜…お風呂上りとかあ…ソファで横になってる時とかあ、

オスの興奮した視線感じるんだけど、なんでかなあ」

〱少し間(3〜5秒)

022 「お兄ちゃん、い〜っつも華穂がスキを見せると、

胸元とかお尻とか…チラッチラッて見てるよね〜」

023 「あはあっ…まさかあ…気付かれてないとも思ってたあ？」

024 「まったくもうっ、お兄ちゃんってば…実の妹で何想像してるのよ」

025 「ああっ…そうそう…あと…お兄ちゃんってえ…足フェチだよねえ」

026 「華穂が足組んでる時とかあ…ニーソ脱ぐときとか…絶対こっち見てるよね」

027 「もうっ…お兄ちゃんたらあ…童貞なだけあって、

ほんつとピュアッピュアの脳みそしてるよねえ」

／／お兄ちゃんを小ばかにする演技　ここまで

／／次セリフ以降　素の演技　開始（たまに素に戻ることとで本心を吐露）

028 「まあゝあ？　華穂はそんな純粋なお兄ちゃんのこと好きなんだけど」

029 「ううゝん、なんでもなくい…なんでもなくいつ、こっちの話だから」

030 「はいっ、続けるよゝ？」

／＼素の演技　ここまで

／＼次セリフ以降　お兄ちゃんを小ばかにする演技　開始　指示があるまで継続

031 「ところでさあ…お兄ちゃん、女の子の唇ってどんな感触なんだろうねえ」

032 「お兄ちゃん…わかんないよね、だって今まで彼女いたことないし」

033 「ああっ…そっかあ、お兄ちゃんのファーストキスは…ママ…だったね」

034 「ごめんごめんお兄ちゃん、お兄ちゃんがキスしたこともないって言って」

035 「でも、お兄ちゃんって…大人のキスはしたことないもんねえ」

036 「ファーストキスはレモンの味…って…昔っから言うけど、

それもほんとかどうかわかんないよねえ」

／＼お兄ちゃんを小ばかにする演技　ここまで

037 「につひひ…まゝ今日はこんなところかな、

どうだったかな…お兄ちゃん？」

／＼読み方…何㍡なん

038 「あぁっ…ごめんね？ お兄ちゃん。

華穂…何か変なスイッチ入っちゃって…ちよつと言い過ぎちゃったかも」

039 「お兄ちゃんとは普段からよく話してるから…改めて話す話題もなくて、

お兄ちゃんのコト少しいじわるしちゃった♪」

040 「まゝあ？

お兄ちゃん…華穂が教えただけのこと守って、

華穂のトークに…うんうんって頷いてたね」

041 「えらいっ！ えらいよ、お兄ちゃん♪」

042 「それでこそ、華穂のお兄ちゃんだけあるよ」

043 「じゃゝあゝ…お兄ちゃん、今日のふくしゅゝうっ♪」

044 「リピート・アフター、華穂っ」

045 「女の子と話すときは、

あまり深く考えず…：かるく流すような感じで…うんうんって、う・な・ず・く」

〳〵読み方…堪え切れた〳〵たえきれた

046 「これだけ抑えてれば、

華穂ちゃんのちよっつといじわるな言葉攻めにも堪え切れたお兄ちゃんなら、

余裕で女の子と話せると思うよ」

〳〵次セリフ 華穂 お兄ちゃんへの本心を言いかける 開始

047 「ま…まっあっ？ もし…もしだよ、どうしても彼女ができなければ…その、

華穂がお兄ちゃんの…」

〳〵本心言いかける ここまで

048 「うんっ…なんでもなく、華穂のひとりごと」

049 「ほーらっ、男なら小さなこと気にしない…気にしな〜いっ」

050 「それじゃあ、今日の華穂ちゃんレッスンはここまで」

051 「お兄ちゃんっ、ご褒美はあ…あ・と・で・ね、ふふっ」

■ 通常パート 終了

■Track 2 有料枠 プレイ内容…足コキ＋言葉攻め＋お兄ちゃんに乳首弄らせる

○場所…自宅・部屋(兄) 時間…夜(22時頃) 人物…華穂

052「はぁ～い…おにいちゃん、今日も華穂ちゃんレッスンお疲れさまでしたあ」

053「今日はちよ～つと、

お兄ちゃんにいじわるなことしちゃって…ごめんなさ～い」

054「でも…お兄ちゃんってば、

華穂に言葉攻めされてえ…ちよ～つと嬉しくなってなかった？」

055「だって～…お兄ちゃんのココ、もうこんなに硬くなってる♪」

056「華穂お～…まだな～んもしてないよ～」

057「何もしてないのに勃っちゃってるってことは、

お兄ちゃんが華穂の言葉攻めで興奮しちゃった証拠じゃないかなあ」

058「ふふっ、そんなDMで変態なお兄ちゃんには…華穂ちゃんからご褒美～」

059 「今日は…足コキ…だよっ♪ お兄ちゃんっ」

060 「そうっ♪ お兄ちゃんのコトいじわるしながらあ、

華穂の美脚で…ふみふみ…してあげるっ」

061 「お兄ちゃんのおちんちん、

足裏で…ごしごし…ごしごし…ごしごし…しごいてしてあげるう」

062 「じゃあ、お兄ちゃんは服脱いだらあ…ベッドの下に仰向けになろっか♪」

063 「ああっ…でも…寒くないように…下に座布団、ちゃんと敷いてねっ」

064 「最近寒くなってきたし、エッチで…かぜ引かないようにっ」

(SE .. 服を脱ぐ音)

(SE .. 横になる音)

065 「はいっ…横になったね、じゃあ」

066 「んうっしょっ、華穂はベットに座って…っ」と

067 「お兄ちゃんのそそり立ってるおちんちん、さっそくいじいじしちゃうねえ」

(SE .. 足コキ音 水気..無し 速度..ゆっくり ループ)

// 華穂 感じ度合い..小 喘ぎ声..興奮している

068 「んうっ…はあっ…んうっ…はあっ、

あああっ…んんうっ…はああっ…んんう…はああっ

069 「お兄ちゃん…んんうっ…こんな感じいつ？

…んうっ…はあっ…んんう…はああ

070 「妹に足でされて興奮するなんてえ…んうっ…はあ、

お兄ちゃんって…んう…はあ…ほんと変態だね…はあ…はあ

071 「でもっ…んう…はあ…それが…いいんでしょっ？♡

華穂に…足で…しこしこ…しこしこって…はあ…踏まれるのが

072 「んんうっ…ふふうっ…んんうっ…はああっ、

お兄ちゃん…んんうっ…はあ…力加減…大丈夫？」

073 「あああっ…んんうっ…あああっ…んんうっ…ふうっ、

はあっ…んんうっ…はあっ…はあっ

074 「華穂お…けっこう…んんう…はあうっ、

力入れておちんちん踏んじゃってるからあっ…んんう…はああっ、

痛くないのかなあって」

075 「んんうっ…はあっ…んんう…あああっ…あああっ、

んんうっ…はああっ…んんんっ…はあああ

076 「ふふっ…痛いぐらいが気持ちいいんだあっ…そっか♪」

(SE…足コキ音 水気…普通 速度…普通 ループ)

／華穂 感じ度合い…中 喘ぎ声…感じている

077 「んんうっ…はああ…んんう…はああ…ああんうっ、

お兄ちゃん…我慢汁…出てきたね♪ んんう…はああ…んんう…はああ

078 「やあらしいんだあゝっ…妹の黒ストに…んんう…はああ…はああ、

お兄ちゃんのえっちな汁…塗りつけてえ…はあ…はあ

079 「んんう…もつとお…出してもいいからね？

どうせこの黒スト…もう使えなそうだし、

お兄ちゃんに…あげるつもりだからあっ…んんう…はあ…はああ

080 「んんんうっ…はああ…んんっ…はああっ、

んんっ…はああ…んんんっ…はあんっ

081 「お兄ちゃん…んんう、

妹に黒ストで足コキされる気分はどう？ はあ…はあ…

082 「お兄ちゃんむっつりすけべだからあっ…んんうっ…しよっ、

ずゝっと…こういうのされてみたかったんでしょ？…はあ…はあ…

083 「んんうっ…ふうっ…んんんうっ…はああ…はああ…あああっ、

ああんっ…お兄ちゃんの…ビクって跳ねたあ…はあ…はあ

084 「足の中でビクビクして…はあ…はあ、

まるでお兄ちゃんがもう一人いるみたいだよ？」

085 「んんっ…はあっ…んんっ…はああ…んんうっ…はああ…んんう…はああ、

ふふっ…お兄ちゃん今…手が空いてるよね？」

086 「じゃあさ…お兄ちゃんは自分の手で…乳首…弄ってみよっか♪」

087 「だいじょぶ…だいじょぶっ♪

乳首も一緒に弄ったほうが…ぜったい気持ちいいからあつ、

んんうっ…はあ…はあ」

088 「私は足でえ…んんう…はあ…こうしてっ…んんうっ…はああ、

お兄ちゃんの気持ち良くしてあげるから」

089 「ほくらあっ…乳首い…弄って…弄ってっっ？

中指と薬指に挟んでえっ…乳首…刺激してみてっっ」

090 「んんうっ…はあんう…んんうっ…ふうっ…んんうっ、

はあっ…はああ…あああっ…はああっ…あああっ…はああっ…はああっ」

091 「お兄ちゃんのおちんちん…もっと硬くなってきたよお♡

足でしごかれて…ムクムクしてきたあつ

092 「あああつ…ああつ…あああつ…はあ…はあ、

お兄ちゃんのおちんちんう…あゝつついいい…んんう…はあ…はあ

093 「黒スト越してもお…んんうつ…はあ…んんう…はああ、

熱が…伝わってくるよおつ

094 「ああつ…あああつ…ああつ…はああ、ああつ…ああつ…はあつ…はあつ

095 「お兄ちゃんのおちんちんからあ、どんどん…おつゆ…溢れてくるよおつ、

あああつ…んんうつ…はああ…はああ

096 「んんうつ…ああんつ…ああつ…ああつ、乳…首いつ、

手え…止めちゃあ…だゝめつ

097 「最初はくすぐったいかもだけどお、

お兄ちゃんの乳首いつ、もう…ぷっくり勃起してきたよおつ

098 「んんうつ…ああっ…ああっ…んんうつ、はああっ…はああ…んんうつ、

ああっ…それってえ、乳首でも…興奮してきた…って…ことだよ♡」

099 「お兄ちゃんはあるっ…妹に足コキされながらあつ、

自分で乳首弄ってえ…す…っごい興奮しちゃってるのぉ」

100 「ああっ…はあっ…んんうつ…ああっ…ああう、

はあっ…はああ…お兄ちゃん…お兄ちゃん…はああ…はああ…はああ」

(SE .. 足コキ音 水気…多め 速度…速め ループ)

／華穂 感じ度合い…強 喘ぎ声…とても感じている

101 「ほら…ほらあっ！ ほらっ…ほらあっ♡

おちんちん…も…つと速くしてあげるからあっ…はああ…はああ

102 「た…くさんっ気持ち良くなつてえっ…お兄ちゃんっ」

103 「んんっ、ああんっ、ああっ、ああうっ、はあっ、はああ、ああんっ、

ああんう、ああんっ、ああっ、はあっ、はああっ♡」

104 「乳首もおっ…こねこね…つ、こねこね…つてえ、もっとしてえ？」♡

もっと激しくこねこね弄ってえっ、はあ、はあ

105 「ああっ、ああっ、ああっ、ああっ♡

ふふっ、お兄ちゃんの…我慢汁、すごい溢れてるうっ、はああ…はああ

106 「ああっ、ああっ、ああっ、ああっ♡

はああ…ヤバあ、華穂もお…お兄ちゃんのしごいてたらあっ、

ああっ、ああんうっ、興奮…してきちゃったあ

／華穂 自分でオナニーを始める

107 「んうっ、はああっ、ああんっ、ああっ、自分でえ…弄っちゃうねえ？♡」

108 「お兄ちゃんのおっ…おちんちん足でしごきながらあっ、はああ、はああっ、

おまんこ…いじいじ…ああっ、ああっ、ああっ、ああんっ、

しちやう…ねえっ

109 「お兄ちゃんもおっ、乳首…止めちゃだよおっ、

一緒に気持ちよくなろおっ？♡ ねっ？」

110「あぁっ、あぁっ、あぁっ、あぁうっ、はぁ、はぁぁっ♡

おちんちん…華穂の足でえ、いっっぱい気持ちよくなってえっ？♡

はぁぁ…はぁぁっ」

111「華穂にい…妹に足で踏まれて気持ち良くなっちゃう…変態お兄ちゃぁんっ、

はぁぁ…はぁぁ♡」

112「あぁっ、あぁっ、あぁっ、あぁっ、はぁっ、はぁぁ♡」

113「んうっ、あぁっ、あぁっ、あぁっ、はぁぁっ♡

あぁっ、あぁっ、はぁぁ、はぁぁっ♡♡」

114「お兄ちゃんう…イきそう？ もう…精液出ちやいそう？」

115「妹が足でおちんちんしごいてえ、あぁっ、はぁっ、はぁぁ♡

興奮しちゃってる姿見てえっ、精子出ちやいそうなの？」

116「いいよ、お兄ちゃんっ、出して！」

1 1 7 「お兄ちゃんの真っ白な精液、華穂の足にたくさんかけてえっ？♡

んんうっ、はぁぁ、はぁぁっ」

1 1 8 「あぁっ！ あぁっ！ あぁっ！ あぁんっ！ はぁっ♡ はぁっ♡」

1 1 9 「あぁっ！ あぁっ！ あぁんうっ！ はぁぁっ！ はぁうう♡」

1 2 0 「お兄ちゃんうっ？♡

おちんちん気持ち良くなりたくて、腰勝手に動いてるよおっ？♡」

1 2 1 「あぁっ！ あぁっ！ あぁっ！

無意識で、華穂の足におちんちん擦り付けちゃってるうっ！

あぁっ♡ あぁっ♡ あぁっ♡ はぁ♡ はぁぁっ♡」

1 2 2 「あぁっ！ あぁっ！ あぁっ！ いいよ、お兄ちゃんうっ はぁ

ぁ
はぁぁ」

1 2 3 「イって？ イってえっ？♡」

1 2 9 「華穂もお、お兄ちゃんと一緒にイっちゃったああ♡

はああ…はああっ…はああ♡

1 3 0 「お兄ちゃんの射精見ながら、一緒にいくのすごく気持ち良かったああ♡

はああ…はああ…はああっ

1 3 1 「見てえ？…おにーちゃん？ お兄ちゃんが出した真っ白な精液、

華穂の足にいっぱいかかってるううっ♡ はああっ…はああ…はああっ

／少し間

1 3 2 「お兄ちゃん…どうだったあ？

実の妹に足コキされながら、自分でちくオナしながら、

妹の目の前で射精した感想はあ？♡

1 3 3 「ふふっ、お兄ちゃんドMだしね♪ これ…クセになっちゃいそうだね」

1 3 4 「いいよ、華穂…優しいから。

変態なお兄ちゃんがどうしてもうって言うなら、また…してあげても」

135 「レッスンも射精も…お疲れ様…お兄ちゃん」

136 「じゃあ、また明日のレッスンも楽しみにしててよね」

137 「おやすみ、お兄ちゃん♡」

■Track 2 終了

■華穂ちゃんレッスン Track 3 く女の子に頼ろうく

○場所…自宅・部屋(兄) 時間…夜(21時頃) 人物…華穂

(SE ..ノック音)

〳次セリフ 部屋外から くぐもった風に編集

001「お兄ちゃん、部屋…入るよ」

〳くぐもり終了

(SE ..ドア 開く音)

(SE ..足音(スリッパ) フェードイン)

002「はい…今日もこの時間がやってまいりました」

003「華穂ちゃんレッスン記念すべき第三回目は」

004「でれれれれれれれ…れんっ、『甘え上手になろう』だよっ」

005 「そうっ♪ お兄ちゃんは普段ぶっきらぼうだから、

女子目線だと…正直話しかけづらいオーラ出してるのよね」

006 「だ〜か〜ら〜っ、

今日は華穂を同級生だと思って、甘える練習してみよっか」

007 「あぁっ…もちろん甘えるといっても、ママっ…とかじゃないよ」

008 「それだとお兄ちゃん、今度はマザコン認定されちゃうし」

009 「そうじゃなくって、

たとえば、ちょっとしたことで女の子に頼ってみるとか♪」

010 「普段クールな印象の男の人が、

いつもとは少し違った一面があったりすると…

女子的にはキュン♡って…するものなお」

011 「ねねっ？ 簡単でしょう？」

012 「それじゃあ、さっそく実践してみよっか…おに〜ちゃんっ♪」

／＼次のセリフ以降　華穂ちゃんレッスン　シチュ開始　指示があるまで継続

■シチュ…授業開始 5 分前　兄…参考書を忘れる　華穂…一緒に見るよう提案する

013 「お兄ちゃん…どうしたの？　そんな血相変えながら鞆の中あさって」

014 「あぁっ…もしかして…何か忘れ物しちゃった？」

015 「ふふっ、そうなんだね」

016 「でも、今から取りに行ったら…講義に遅刻しちゃうよね」

017 「ここにお兄ちゃんが今日使う教科書あるんだけど…」

誰か華穂と一緒に見てくれないかなぁ？

018 「華穂おー、一人で講義聞くの退屈だなぁ」

／＼兄　華穂に参考書を見せてくれるよう頼む

019 「うんっ♪　もちろんいいよ、お兄ちゃん」

020 「はいっ…じゃ…これ教科書…一緒に見よっ？」

021 「えーと、そこからじゃ…見えづらいでしょ？」

022 「ほらほら、もつとこっち寄って寄ってっ♪」

023 「そっれーに、お兄ちゃんにはちゃーんと、講義聞いて欲しいし」

024 「ええっ…なんでーって、華穂お…勉強苦手だし」

025 「テスト前に、もう一回お兄ちゃんに教えてもらいたいなあって」

／次セリフ 耳元で囁くように

026 「もちろん、華穂から…ちゃーんとお礼もするから♡」

／囁き 終了

027 「ねねっ…お兄ちゃん、いいでしょ？」

0 2 8 「やったあ♪…さっすがお兄ちゃん！ 話が分かるうっ♪」

／／授業シチュ ここまで

0 2 9 「はい…カットっ」

0 3 0 「どうう…お兄ちゃん？ こんな感じで、ちゃんと女の子に甘えられそう？」

0 3 1 「今日は練習だったから…少し大げさにやったけどお」

0 3 2 「たとえばそうだなあ、お兄ちゃんだったら」

／／次セリフ 華穂がお兄ちゃんの真似

0 3 3 「なあ、俺今日ノート忘れちゃったんだけど、

俺の代わりにノートとっておいてくれない？」

／／お兄ちゃん真似 ここまで

0 3 4 「とかあ、」

／次セリフ 華穂がお兄ちゃんの真似

035 「ちょっと喉乾いたんだけど、

俺お金持っていないから、お前代わりを買ってきてくれ」

／お兄ちゃん真似 ここまで

036 「とかあゝ」

037 「あはあっ♪ ごめんなさゝい、まじめにやりまゝすっ」

038 「まあ…普通にゝ」

／次セリフ 華穂がお兄ちゃんの真似

039 「今日ペン忘れちゃったから、ちょっと貸してくれなゝい？」

／お兄ちゃん真似 ここまで

040 「とか、かなあ。何か最初に、話すきっかけ的なものがあればいいよね」

041 「そうやって会話にワンクッション置くことで、

その後の会話に繋がってくものだし」

042 「女の子だって、私ってモノを貸せるぐらいには、

この人のことを信用してるんだな」って、勝手に思ってくれるし」

043 「それで、もう少し関係が進んで、

知り合いとか…友達っていえるぐらいになったら」

／次セリフ 華穂がお兄ちゃんの真似

044 「ごめんっ…今日俺…財布忘れちゃったから、おごってくれない？」

／お兄ちゃん真似 ここまで

045 「とかあ」 あとお兄ちゃんだったらあ、」

／次セリフ 華穂がお兄ちゃんの真似

046 「今度妹の誕生日だから…女子目線でプレゼント選ぶの手伝ってくれない？」

／＼お兄ちゃん真似　ここまで

047 「とか…かな〜っ♪」

048 「そうやって、相手に借りを作っておけば、

少なくとも…もう一回は話す機会が生まれるわけでしょ？」

049 「特にご飯とかだったら、おごってくれた代わりに…

今度はお兄ちゃんが美味しいものをご馳走してあげるとか…ね？」

050 「華穂ちゃんからのアドバイスはこの辺…かなあ〜」

051 「それじゃあ、お兄ちゃん実際に華穂相手に練習してみよっか」

052 「はいっ、じゃあスタートっ」

／／次のセリフ以降 華穂ちゃんレッスンのシチュ開始 指示があるまで継続

■シチュ…充電器を借りる 時間…授業開始 5 分前

／／兄…充電器を忘れる役 華穂…充電器を貸す役

0 5 3 「んんっ？ お兄ちゃん、どうしたの？ そんな困った顔して」

0 5 4 「スマホの充電切れちゃったの？ じゃゝあつ、はいこれっ。

モバイルバッテリー」

0 5 5 「使い終わったら、授業後にでも返してくればいいから♪」

0 5 6 「うんっ♪ じゃあ…またあとでね」

／／少し間

／／授業終わり

0 5 7 「ああっ…お兄ちゃん、わざわざ返しに来てくれたのね」

0 5 8 「貸したの完全に忘れてたよー わざわざ返しに来てくれてありがとうーっ♪」

0 5 9 「んー…お礼ーっ？ いいよいいよー 別にこれくらい」

0 6 0 「ほら、困った時はお互い様でしょ？」

0 6 1 「それに私たち、同じサークルなんだし」

0 6 2 「あっ…でもっ♪

そこまで言うなら、今度何かおごってもらおうかなーっ♪」

0 6 3 「うんっ♪ じゃあ…またサークルでね」

■ シチュ…充電器を借りる ここまで

0 6 4 「はい…カーツトツ！」

0 6 5 「お疲れ様…おにーちゃんっ♪」

0 6 6 「うんっ♪ 割と出来たと思うよ」

067 「今のところでも自然な流れで、華穂ちゃんポイント高め♪」

068 「じゃーあーっ、今回学んだことは「甘え上手」になるだけど、

日常生活でもちゃんと取り入れてみてね♪」

／少し間

069 「ところで、その…お兄ちゃん？ 今日、ご褒美欲しいよね？」

070 「…う、そうだよ。やば…。ちょっと、恥ずかしくなってきた…」

071 「はいはい、分かったからあつ。

まったくもうっ、お兄ちゃんてば強引なんだからっ」

■通常パート 終了

■Track 3 有料枠 シチュ..赤ちゃんプレイ プレイ内容..授乳手コキ

○場所..自宅・部屋(兄) 時間..夜(22時頃) 人物..華穂

072 「はあいっ..おにいちゃん、

今日もレッスン頑張れて..えらいえらいでちゅね♪」

073 「んんっ? 話し方? 今日甘え上手がテーマだったからあ、

お兄ちゃんのこと華穂が甘やかしてあげようかと」

// 呆れ

074 「もうう..お兄ちゃん..そういうトコだよ」

075 「よく分かんなくても、とりあえずノリに合わせる。

これコミュニケーションの基本だから」

076 「華穂..前にお兄ちゃんに教えたよね?

まったくもうっ、してるこっちの方が恥ずかしいんだからっ」

077 「はいはい、じゃあ続けるよ?」

／＼呆れ 終了

078 「はーいつ、ちゃんと復習できて…えらいでちゅね♪」

079 「それじゃーあー、お兄ちゃんは華穂の膝の上にゴロンってしてー？」

■ シチュ…ひざまくら

(SE .. 膝上に寝そべる音)

080 「はあい、お兄ちゃんはある…

今から華穂のかわいいかわいい赤ちゃんでちゅよー」

080 「バブちゃん、ちゃんと勉強できて…いい子いい子でちゅねー」

081 「そんなバブちゃんには…華穂ママからのご褒美…あげまちゅよー」

(SE .. 衣擦れ音 & ブラをずらす)

082 「はいっ…バブちゃんはママのおっぱい、

いっっぱい…ちゅうちゅうしまちようねー」

／＼華穂 兄に乳首を吸われる

／＼感じ度合い…中 吐息…通常時よりは多め

083 「んんんうつつ♡ バブちゃん…えらいえらい」

084 「ママのおっぱい…元気にちゅうちゅう吸えてえらいでちゅ」

／＼読み方…妹っぱいⅡいもっぱい

085 「ママのおっぱいはあ…Eカップありまちゅからね」

ボリューム満点な妹っぱいでえ…た〜つぷり癒されてくだちゃいね」

086 「あああん♡ バブちゃん、ちゅうちゅうつてするの、お上手でちゅ」

087 「華穂ママあ、乳首吸われて…気持ちいいでちゅよ」

／＼華穂、次第に興奮してくる

088 「おっぱい…ちゅっちゅつ、おっぱいちゅうちゅう…はああ…はああ♡」

089 「妹のおっぱいちゅうちゅう、元気いっぱいにちゅうちゅうちゅうっ」

090 「あれあれ？ バブちゃあん？

おちんちん…おつきしてきちゃいまちたね」

091 「バブちゃんたら…ママのおっぱいちゅうちゅうってしてえ、

興奮しちゃったんでちゅねえ」

092 「いいんでちゅよく？ バブちゃんはそのままあ、ああんっ♡

華穂ママのおっぱい、ちゅうちゅうしてくだちやいね…はあ…はあ」

／読み方…お手々〓おてて

093 「ママはあ…バブちゃんのおちんちん、しこしこ…しこしこっつて、

柔らかお手々でしごいてあげちゅからね」

(SE …ズボンをずらす音)

(SE …手コキ音 水気…なし 速度…ゆっくり ループ)

094 「大人おちんちん…しこしこ、

ママのおっぱいちゅうちゅうしながら…しこしこ」

／読み方…妹っぱいⅡいもっぱい

095 「ちゅっこちゅっこ…勃起おちんちんちゅっこちゅっこ♪

おっぱいちゅうちゅう…妹っぱいちゅうちゅうちゅう♡」

096 「ああっ…ああっ…ああんっ…ああっ…はあ…はあ♡」

097 「んううっ…ふうんっ♡ はあ…はあ…バブちゃあん、

赤ちゃんにしてはものすごくいやらしい吸い方しまちゅね」

098 「ああんっ♡ ああっ…ああう…はああっ…んうっ、

マ…マあ、おっぱいたくさんぶられてえ…ああんうっ♡

ああっ…ああんっ、気持ち…いいでちゅよ…はあはあ♡」

／読み方…妹っぱいⅡいもっぱい

099 「おっぱいちゅうちゅう…はあ…はああ♡ 妹っぱいちゅうちゅうちゅう♡」

／感じ度合い.. 中々強 喘ぎ声.. やや強く感じている

100 「おちんちん.. しこしこしこ、大人おちんちん.. しこしこしこしこ..」

101 「はあ.. はああっ♡ マ.. マあ、ああんうっ♡ バブちゃんに、

おっぱい元気に吸われてえ.. 感じちゃってますう..」

102 「バブちゃんもおちんちんう、ああっ.. ああっ♡

ヌチュツヌチュツってしごかれてえ、気持ちいいんでちゅか..?♡」

103 「妹のおっぱいちゅうちゅうしながらあ、

ああっ.. ああんっ♡ ママの手でゴシゴシってされてえ、

はあ.. はあ.. いっぱい感じちゃうんでちゅか..?♡」

104 「おっぱいちゅうちゅう.. おちんちんしこしこ..っ♡ はあ.. はああ♡」

105 「ママのおっぱいちゅうちゅう♡

バブちゃんおちんちん.. しこしこしこしこお..っ♡」

106 「んふふっ♡ ママにはバブちゃんのおちんちんがぁ、

ちやゝんと喜んでくれてるの…丸わかりでちゅからねゝ」

107 「だって…華穂はぁ、バブちゃんのマゝマ、なんでちゅからぁゝ」

／次セリフ「お兄ちゃん…じゃなかった」の部分 一瞬、素が出る

108 「おちんちん…しこしこしこお♡ はぁはぁっ、気持ちいいんでちゅねゝ？

お兄ちゃん、じゃなかった…バブちゃんゝ？」

／素が出るの終了

109 「今日はぁゝ…甘える練習なんでちゅからぁゝ、

華穂のおっぱい…いゝっぱいちゅうちゅうしていいんでちゅからねゝ？♡」

110 「おっぱいちゅうちゅう…おちんちんちゅこちゅこっ♡」

111 「おっぱいちゅうちゅうちゅう♡ おちんちん…ごしごしごしごしゝっ♡」

1 1 2 「バブちゃん、おちんちんから我慢汁がどんどん溢れちゃいまちゅね」

1 1 3 「たくさん感じてる証拠でちゅねえ…バブちゃん…はあ…はあ♡」

1 1 4 「バブちゃんはあ…そのまま…なんにも考えなくて…いいんでちゅよ」

1 1 5 「バブちゃんはただあ、ママのおっぱい…ちゅうちゅうって吸いながらあ、

はあはあ♡」

1 1 6 「妹に手でしこしこ…って…手コキされてえ、

い…っぱい気持ちよくなりまちようね」

//読み方..妹っぱい..いもっぱい

1 1 7 「妹っぱいちゅうちゅう、お兄ちゃんのおちんちんしこしこし…はあはあ♡」

1 1 8 「華穂ママのおっぱいちゅうちゅうちゅう、

大人おちんちんしこしこしこしこし♡」

1 1 9 「あぁっ…バブちゃんっ♡ あぁっ…あぁんっ、

乳首ちゅうちゅうってえ…そんなに必死になってえ」

// 感じ度合い…強 喘ぎ声…とても感じている

1 2 0 「あぁんっ♡ 乳首甘噛み出来てえらいでちゅね…バブちゃん♡」

1 2 1 「ママぁ…バブちゃんのお口だけでえ…乳首感じちやいまちゅよお♡

あぁっ…あうっ…あぁぁっ…はぁはぁ♡」

1 2 2 「ママの乳首ちゅうちゅう、はぁ…はぁあ♡

おちんちんしごかれながら…ちゅうちゅうちゅう」

1 2 3 「あぁっ、あぁっ、あぁっ、あぁっ、あぁんっ♡」

1 2 4 「バブ…ちゃん、ホントにいゝ赤ちゃんでちゅかぁっ？

おっぱいちゅうちゅうってするのがぁ、いやらしすぎますうっ♡」

1 2 5 「んふふっ、バブちゃんう、もゝ射精我慢できなくなっちゃいまちたかぁ？

おちんちんう、さらに硬くなつてきまちたねえ♡」

1 2 6 「バブちゃんが最後まで気持ち良く射精できるように、

ママ、おちんちんしこしこがんばっちゃいますねえ♡」

(SE .. 手コキ音 水気.. 多め 速度.. 速め ループ 開始)

1 2 7 「しこしこ、しこしこしこ♡」

1 2 8 「はあはあ♡ バブちゃんのおちんちん、

ママの手の中でもちいいつ、気持ちいいって、ビクビクしてまちゅ♡」

1 2 9 「しこしこしこ、しこしこしこしこ♡」

1 3 0 「ああつ、ああつ、はあはあ♡ ママのおっぱい、

もぅっといっぱいちゅうちゅうしてえ♡」

1 3 1 「しこしこしこおっ♡

おっきな勃起おちんちん、しこしこしこしこ♡、はあ、はああ♡」

1 3 2 「バブちゃんのえっちなおつゆがあ、天然の潤滑油になってえ♡

しこしこするスピード、どんどん速くなっていきまちゅね♡」

133 「しこしこ、しこしこしこっ♡ はあはあ♡」

134 「ほおっらあ、バブちゃんのおちんちん、もう限界でちゅね♡」

135 「ママに授乳手コキされながらする射精はあ、はあはあ♡

きっとお、ものすごくっ、気持ちいいでちゅよ、はあ、はあ」

136 「がくんばれっ、バブちゃんっ、がくんばれっ♡」

137 「おっぱいちゅうちゅう、おちんちんしこしこっ♡

おっぱいちゅうちゅう、おちんちんしこしこっ♡」

138 「バブちゃんっ？ もうイっちゃいそう？」

139 「ふふっ♡ いいでちゅよ、ママにバブちゃんの真っ白い精液、

たくさんかけてくだちゅい」

140 「ママはあっ♡

バブちゃんがちゃんと射精するまで、こうしてしこしこっって、

ずっとしてあげちゅからね♡？」

1 4 1 「バブちゃんはある、ママのおっぱい、たくさんちゅうちゅうしながらあ、

ああっ、ああっ、ああうっ♡ はあはあ♡」

1 4 2 「ドロドロした濃厚な精液い、いっっぱい射精して、

華穂ママに元氣よくびゅっびゅっすると、見せてくだちゃい」

1 4 3 「ほーらあーっ♡ 我慢しないでいいんでちゅよお？♡」

1 4 4 「はあはあ、バブちゃん？ ああっ、ああっ、ああんっ♡」

1 4 5 「イって？ イってえっ？♡

ママにバブちゃんの良いやらしいミルク、いっっぱいかけてくだちゃあい！」

(SE .. 手コキ音 水気..多め 速度..速め ループ 終了)

// 射精

(SE .. 射精音)

1 4 6 「ああああああっ！？ ああっつ、あああーっ、出てるう♡♡」

1 4 7 「バブちゃんの精液い、いっっぱいびゅっびゅしてるうーっ♡」

148 「びゅるっ、びゅるるるっ♡ どぴゅっ、どぴゅっ、びゅるるるっ♡」

149 「あぁっ♡ あぁっ、あぁっ、はぁはぁ♡

おっぱいちゅうちゅうって吸いながらあ、

いっっぱい赤ちゃんミルク出してるバブちゃん、かわいいでちゅっ」

〓射精後 余韻 以降トラック3最後まで

150 「はぁぁっ、はぁぁっ、はぁぁっ♡

バブ…ちゃん♡ たくさんミルクびゅっびゅって出せて、えらいでちゅねっ」

151 「えらいえらい、精子いっぱい出せて、えらいえらいでちゅっ♡」

152 「バブちゃん？ 射精して疲れちゃったでしょう？」

153 「このまま、華穂ママのお膝でおねんねしていいでちゅからねっ」

154 「ママはぁ、いつでもバブちゃんのママなんでちゅからあ♡」

155 「ほっら、大きなあくびっ バブちゃん？ おやすみなさっ♡」

／＼少し間(3～5秒)

／＼兄 眠りについた後

156 「お兄ちゃん…ホントに華穂の赤ちゃんみたいに素直に甘えてきて、

かわいかったでちゅー」

157 「あぁっ…間違えた、かわいかったなぁー」

158 「お兄ちゃんが元気ない日はあ、またしてあげよっかなー♪」

159 「ふふっ♡ おやすみ、お兄ちゃん♪」

■Track 3 終了

■華穂ちゃんレッスン Track 4 ～女の子とデートしよう～

○場所…自宅・部屋(兄) 時間…夜(21時頃) 人物…華穂

001「お兄ちゃんっ♪ 今日の華穂ちゃんレッスンは…デートの予行練習…だよ」

002「華穂があ…お兄ちゃんの服装…コーディネート、したげるね」

／少し間(3～5秒)

003「うんっ、お兄ちゃんには少しカジュアルな服装が似合うと思うよ♪」

004「お兄ちゃんはその服着て、明日華穂とデートするのよ」

005「そうねえ…本番デートっぽくしたいから、現地集合にして…」

006「ついでにお昼も一緒に食べよっか♪」

007「だったら、11時くらいがちょうどいいかなあ」

008 「場所は…：うんっ、じゃあ…：ハチ公前で合流しよっか」

009 「お兄ちゃん、遅刻…：しないようにね」

010 「普通デートで女の子待たせるなんて…：あり得ないんだからっ」

011 「お兄ちゃんは…：んん、まあ10分くらい前には着いてるぐらいがちょうどいいかもねっ♪」

／シーン切替 翌日

○場所…：渋谷ハチ公前 時間…：11時過ぎ

(SE…：足音 フェードイン)

／華穂、小走りで近づいてくる 次セリフ、編集でフェードイン

012 「お兄ちゃん、お待たせ…：待った？」

013 「それならよかった♪ 待ってるのも疲れるしね」

／次セリフから指示があるまで、耳もとで話す感じで、小声

014 「お兄ちゃん、本当は1時間前には着いてたよね」

015 「華穂…お兄ちゃんが早めに家出てったの知ってるんだから」

016 「でも、そういうところ…華穂的にポイント高いかも♪」

017 「それだけ、お兄ちゃんが華穂とのデート…

楽しみにしてくれたりってことだから」

／耳もと 終了

018 「それじゃ、お兄ちゃん、ご飯行こっか♪」

019 「手…つなごっ？」

020 「そう…指絡めて、恋人繋ぎ」

021 「恥ずかしいって、お兄ちゃん…華穂で練習しておかなくていいの？」

022 「いざっていう時、お兄ちゃん対応出来ないでしょ？」

023 「ほーらー、はーやーくーっ」

(SE .. 手をつなぐ)

024 「はいっ、よろしいー…そうそう、

後は女の子の歩くスピードに合わせるのもポイントね、忘れないようにーっ」

(SE .. 足音(二人分) フェードアウト)

〓シーン切替(時間経過)

025 「はああああー、美味しかったあー」

026 「お兄ちゃん、ご馳走さまー」

〓次セリフから指示があるまで、小声(独り言)

027 「これは練習だし…華穂も半分出すーって言ってるのに」

028 「お兄ちゃんってば、変なところ頑固なんだからっ」

／＼小声(独り言) 終了

029 「んっ？ 何でもない…何でもない」

030 「それよりお兄ちゃん、次は…どこ行こっか？」

031 「華穂？ 華穂はね、お洋服が見たいなあ」

032 「別に何か欲しいってわけじゃないんだけど」

033 「そうそう、ウィンドウショッピング！ お兄ちゃんよく分かってるじゃん♪」

／＼次セリフ 小声(独り言)

034 「華穂はお兄ちゃんと一緒にいれれば、それでいいんだけど」

／＼小声 終了

035 「じゃーあー、お兄ちゃんは今日一日…華穂の付き添い役けつてーい!!」

036 「華穂…お洋服たくさん見ると思うけど、

ちゃーんと付いてこなきゃ…やだよ…お兄ちゃん」

(SE .. 足音(二人分) フェードアウト)

〳〳シーン切替

○場所…渋谷(外) 時間…夕方

037 「はあああー、たくさん見たあー」

038 「といってもお兄ちゃんと一緒だから、下着までは見てないけどねー」

〳〳次セリフ以降 指示あるまで、あざとく

039 「ねえ、お兄ちゃん？ 華穂のお…し・た・ぎ…選んでくれな〜い？」

040 「華穂おー、最近また大きくなっちゃったみたいでえ」

041 「今着けてるのも、少しきつきつなんだあゝ」

／＼あざとい演技　ここまで

042 「って、まあ…冗談なんだけどね」

043 「あぁっ、でもおっぱい育ってるのは…ほんとだけどね」

044 「あぁゝっ！ お兄ちゃん、今…華穂のおっぱい見て想像したでしょ♡」

045 「いーや、絶対妄想したよね？」

046 「華穂、そういうの分かっちゃうんだあ」

047 「だって…お兄ちゃんの妹だから♪」

／＼次セリフから兄を誘惑　あざとく　指示あるまで継続

048 「それでお兄ちゃん、華穂おゝ…たくさん歩いて疲れたからあ、

どこかで休憩していききたいなあゝ」

049 「カフェー？ うーん…今…華穂はあー、そんな気分じゃありません」

050 「女の子が休憩したいーって言ったら

……賢いお兄ちゃんならもう…分かるよね？」

051 「じゃ…行こっか…お兄ちゃん、きゅ・う・け・い♡」

// あざとい演技 ここまで

■ 通常パート 終了

■Track 4 有料枠 プレイ内容…本番セックス(正常位)

○場所…ラブホテル 時間…夕方 人物…華穂

／読み方…視姦Ⅱしかん

052 「ね〜え〜、華穂お〜…さっきお兄ちゃんにオスの目で視姦されてからあ〜、

子宮キュンキュンしちゃってるのお〜」

053 「膣キュンしちゃってるのお〜」

054 「だから…ね？ お兄ちゃん、このまましちゃお？」

055 「華穂たち…兄妹だけど、それ以前に年頃の男と女だよ？」

056 「華穂だって、お兄ちゃんに興奮…するんだよ？」

057 「いい…よね…お兄ちゃん」

／少し間(3〜5秒)

(SE .. 脱衣音)

058 「うわぁっ、お兄ちゃんのおちんちん…もうビンビンになってるう」

059 「それにこんなに脈うつてえ…もううっ…妹とする気満々じゃ…ん」

060 「お兄ちゃんも華穂とそういうこと…したいんだあ…あはぁっ♪」

061 「じゃ…あ…華穂…横になるね？」

(SE .. ベッドに横になる音)

■ シチュ…正常位

062 「お兄ちゃん…こっち来て、上から…して？」

063 「うんっ、そこ…華穂のおまんこお…お兄ちゃんの妹のおまんこお…

はぁ…はぁ」

064 「今日一日お兄ちゃんとデートして…たくさん優しくされて、

もう…糸引いちゃってるの」

065 「おちんちん入る準備…出来ちゃってるのお…はあ…はあ」

066 「お兄ちゃんが今…亀頭当ててるところ、うん、

そう…そこ…おちんちん入る穴…だよ」

／読み方…挿れてⅡいれて

067 「ねえ…挿れて？ お兄ちゃん」

068 「お兄ちゃんのおっきなおちんちんでえ…華穂のおまんこ、

いっぱい気持ち良くして」

069 「華穂…まだ処女だけど、初めてはお兄ちゃんになりたい」

070 「きて？ お兄ちゃん……」

(SE .. 挿入音 深度..浅い)

071 「んんんううっ!! お兄ちゃんのが…入って…きたああっっ!!?」

072 「ああああっ、おっきいのが…入ってくるのお」

073 「お兄ちゃんのが…華穂の処女おまんこの中…グイグイっしながらあっ…
きてるのおっ」

074 「いいよおっ…お兄ちゃん…華穂をお兄ちゃんの女にして」

075 「処女膜おちんちんで突いて、華穂の記憶にお兄ちゃんとの初体験、
刻みつけてえっっ!!」

//次セリフで破瓜 ※痛がり過ぎない程度で

(SE .. 挿入音 深度..深い)

076 「あああっ!?! んうううっ! んうううううっっ!!」

077 「お兄ちゃんゝんっ!! はああ…はああ…」

078 「お兄ちゃんのおちんちん、全部入ってるよお」

079 「華穂の子宮まで…お兄ちゃんのが届いちゃってるよお」

080 「はあああっつ…お兄ちゃんゝん、好きいゝ…好きいゝ」

081 「華穂…：こうしてお兄ちゃんとお…はあ…はあ…

ずゝつと繋がりがたかったの…ほんとだよ？」

082 「ほんとはお兄ちゃんに恋人なんか作って欲しくなくて、

華穂のこと…もつと見て欲しいよお」

083 「ねえ…お兄ちゃん、ちゅゝ…しよ？」

084 「華穂はお兄ちゃんに…ファーストキス…あげたい」

／＼キス 水気…普通 速度…ゆっくり

085 「んうっ…ちゅっ…ちゅっ…ちゅ…ちゅっ、

んふうっ…ちゅっ…ちゅっ…ちゅっ…ちゅっ

086 「ふふっ、しちゃったあ♡ お兄ちゃんとキス…それも何回もお」

087 「んふうっ…ちゅっ…お兄ちゃん、好き♡」

／＼キス 水気…普通 速度…ゆっくり

088 「んうっ…ちゅっ…ちゅっ…ちゅっ…ちゅっ…はあ、

ちゅっ…ちゅっ…ちゅうちゅう…ちゅばあっ

089 「はああああ…お兄ちゃん…ちゅきい、いっぱいちゅき」

／＼読み方…口下手Ⅱくちべた

090 「お兄ちゃんの口下手なところも…本当は優しいところも、顔も…性格も…

華穂のこと…妹のこと…ちゃんと大事にしてくれるところも…全部好きい」

091 「お兄ちゃん…お兄ちゃん、お兄ちゃん…お兄ちゃんっ♡」

092 「華穂…もう大丈夫だからあつ、してえっ…パンパンしてえっ？」

093 「お兄ちゃん…優しいから待っててくれたんだよね」

094 「ありがとう…お兄ちゃん」

095 「でも…もう大丈夫だからあつ、あとはお兄ちゃんが好きなように動いて」

096 「それで…華穂のこと、いっぱい愛してえっ！」

(SE…抽送音 水気…普通 速度…ゆっくり ループ)

// 感じ度合い…弱 喘ぎ声…やや感じている

097 「ああっ…ああっ…ああ…ああっ…華穂、おっ…

お兄ちゃんに突かれちゃってるうううっ」

098 「ああっ…ああっ…ああっ…ああっ、

パン…パンって…されちゃってるうううっっ！！」

099「ああっ…ああっ…ああっ…ああんっ…お兄ちゃん…お兄ちゃんっ…」

／読み方…擦れる＝こすれる

100「お兄ちゃんのおちんちん…華穂の中でズンズンしてえっ、

おまんこ…いっぱい擦れちゃってるのおっ」

(SE…抽送音 水気…普通 速度…普通 ループ)

／感じ度合い…中 喘ぎ声…感じている

101「あああっ…ああっ…ああっ…ああっ…はああ、

んんうっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああんうっ」

102「お兄ちゃん、のおっ…おっきいい、ああっ…ああっ…あああんっ、

はああ、あああっ…硬くてあつついのおっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああんうっ」

103「おちんちん…出入りするたびいつ、華穂の膣…えぐってえっ…

ああっ…ああっ…あああっ、ズリッズリッしてえっ…

ああっ…ああっ…中で響いてるのおっ」

104 「ああっ…ああっ…ああっ…ああっ、ああっ…ああっ♡」

105 「相手、お兄ちゃんなのにつ、ああっ…ああっ…ああっ…あああつ、

華…穂おっ…お兄ちゃんの妹なのにつ、ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ

106 「お兄ちゃんにい…おまんこされてえっ…ああっ…ああっ…あああつ、

気持ち…いいよおっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…あああつ♡」

107 「大好きな、お兄ちゃんとおっ…ひとつになれてえっ…嬉しいよおっ。

ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああうっ♡」

108 「おにいちゃんっ？ こっちきてえっ、ああっ…ああっ…ああっ、

そ…ううっ…身体倒してえっ…華穂のおっぱいも可愛がつてえっ！

／＼兄が身体を華穂の方へ倒し、おっぱい揉みながら、ピストンは継続

(SE..抽送音 水気..普通 速度..普通 ループ)

／＼感じ度合い…中々強 喘ぎ声…やや強く感じている

109 「ああん♡ ああっ…ああっ…ああっ…

お兄ちゃん、のおっ…大好きなあ…妹のおっぱいだよお？」

110 「いっつもお兄ちゃんがあ…チラチラって見てえっ、

勝手に興奮しちゃってたおっぱいいっ！」

111 「あぁっ…あぁっ…お兄ちゃん…おっぱい触るの…激しい、よおっ…

あぁっ…あぁっ…あぁっ…あぁんっ」

112 「そんなに華穂のおっぱい…揉みしだきたかったんだぁっ？♡」

113 「あぁっ…あぁっ…あぁっ…あぁんっ♡ そう、だよねえっ？

童貞だったお兄ちゃんはある、生でおっぱい揉むの初めてだもんねえっ？」

114 「あぁっ…あぁっ…あぁっ…そ…こおっ♡ 乳首いっ…はあはあ、

乳首はぁっ…はううん♡ 刺激強いのおっ…感じすぎちゃうのお！」

115 「ひゃ…あぁっ！ あぁっ！ あぁっ！ あぁんっ！ あぁんっ！

乳首いじめられながらズプズプされるのおっ…

あぁっ！ あぁっ！ えっちすぎだよおっ」

116 「あぁっ！ あぁっ！ あぁっ！ あぁんっ！

お兄ちゃんっ…しゅきい…しゅきい♡」

117「華穂を…お兄ちゃんの彼女だと思ってえっ…もっといっぱい突いてえっ！」

(SE .. 抽送音 水気..多め 速度..速い ループ)

／感じ度合い..強 喘ぎ声..とても感じている

118「ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああんっ！

ふふっ…華穂が彼女だって言ったらあっ…腰振るの速くなったあっ！

ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああうっ！」

119「いい、よおっ？ お兄ちゃんうっ…華穂、はあっ…ああっ！ ああっ！

今だけはあっ…ああっ！ ああう！ お兄ちゃんの彼女おっ！」

120「ああっ！ ああっ！ あああっ！ だか…らあっ、

華穂のこと、お兄ちゃんの彼女だと思ってえっ…

思いつきり突いて…気持ちよくなっているんだよおっ？」

121「ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああんっ！

はああっ、ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああんうっ！」

1 2 2 「いいっ！ 気持ちいいよおっ？♡ お兄ちゃんの本気セックスうっ！

ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああんっ！

1 2 3 「華穂もおっ！ オス丸出しのお兄ちゃんにいつ！

本気で求められてるって思ったらあっ！

子宮…キュンキュンしちゃってえ…愛液、とまらないよおっ！♡」

1 2 4 「ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああんっ！

おにいちゃあんっ！♡ お兄ちゃん！ お兄ちゃん！ お兄ちゃあんっ！♡」

1 2 5 「もう、イきそうなんだよねえっ？

せーえき、ぴゅっぴゅっ出てちやいそうなんだよねっ？♡」

／＼読み方…膣内Ⅱなか

1 2 6 「いいよおっ？♡ 出してえっ！

妹の膣内あっ、お兄ちゃんの孕ませ精液で全部満たしてえっ？♡」

1 2 7 「大丈夫うっ！ 今日、安全な日だからあっ！

ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああんっ！」

1 2 8 「だか…らあっ！ 出してえっ？♡ 妹の子宮にいつ！

お兄ちゃんの子種、いっぱい注ぎ込んでえっ？♡」

1 2 9 「ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！

はあっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！

1 3 0 「華穂、もおっ！ 何かおっきいのくるのおっ！

ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！

1 3 1 「お兄ちゃんのこと想ってえっ…一人でするときよりも、

気持ちいいのきちやうのおっ！♡」

1 3 2 「ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！

ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！

ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！

1 3 3 「ダメっ！ ダメ！ ダメえええっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！

1 3 4 「もうっ、いくっ！ いくっ！ いくっ！ いくっ！ いくっ！ いくっ！♡」

(SE .. 抽送音 水気..多め 速度..速い ループ 終了)

(SE .. 射精音)

／次セリフ 華穂 絶頂

135 「イっくうううつつっ!!♡♡ んんんううつつ♡♡」

／絶頂後の余韻を持たせる 以降、通常よりは少しゆっくり目で話す

136 「はあああ...はああっ...はああっ、ああっ、はああ...はあああ♡」

／読み方..腔内Ⅱなか

137 「お兄ちゃんのが...腔内で出てりゆう、

あつつい精液があ...子宮に届いちやってりゆう♡」

138 「あああっ...あああっ...んんうっ♡ はああ...はああ...はああっ...はあああ

139 「お兄ちゃんに...中出ししてもらえてえ、

華穂も...すごい気持ちいいよお♡」

1 4 0 「中でお兄ちゃんのせーえきが、じわあーって広がってる♡」

1 4 1 「はああ…はああ…はあああ…ずーっと…お兄ちゃんとううしてたいよお…」

／キス 水気…普通 速度…ゆっくり

1 4 2 「お兄ちゃん♡ んうっ…ちゅうっ…ちゅっ…ちゅう…ちゅう…んう、

ちゅっ…ちゅう…ちゅばあっ」

1 4 3 「お兄ちゃんが望むならあ…またしたげるからあっ、ちゅうっ…んう♡

してる間だけでも…華穂のこと、

お兄ちゃんの彼女にしてくれると…嬉しいなあ…んう…ちゅっ♡」

1 4 4 「もう少し…ここで休んでから、おうち…帰ろっかあ♡」

1 4 5 「好きだよ…お兄ちゃん、ちゅっ♡」

■Track 4 終了

■華穂ちゃんレッスン Track 5 ～恋人と愛し合おう～

○場所…玄関 時間…夕方

／朝、デートに送り出したはずのお兄ちゃんが、早めに帰ってくる

(SE .. 玄関のドアが開く音)

001 「あれっ…どうしたの…お兄ちゃん、こんなに早く帰ってくるなんて」

002 「そんな真剣そうな顔して…もしかして…デート…失敗しちゃった？」

003 「うーん…そうじゃないの？ むしろ結構いい感じだった？」

004 「なら…どうしてこんな早く帰って来ちゃったわけ？」

／華穂、兄に抱き寄せられる

(SE .. 抱き寄せる)

005 「ええっ…お兄ちゃん…一体どうしたのよ、

急に抱き締められても…華穂…どうしたらいいか…分からないよ」

006 「お兄ちゃん、これってそういうことで…いいのかな…」

007 「華穂…悪い子だから、すごい都合の良い解釈しちゃうよ？」

008 「お兄ちゃんが華穂のこと好きって、勘違い…しちゃうよ？」

／＼キス 水気…普通 速度…ゆっくり

009 「んうっ♡ ちゅっ…ちゅう…ちゅっ、はあ…ちゅっ…ちゅう…ちゅぱあっ

010 「はああ、お兄ちゃあん♡ ん…ちゅう、ちゅうちゅう…はあ…はあ」

011 「お兄ちゃん…華穂、もう部屋まで我慢…できないよ」

012 「パパとママ…明日まで帰って来ないしい、んうっ…ちゅっ♡

「ここで…しちゃお？」

／＼キス 水気…普通 速度…普通

013 「んうっ♡ ちゅっ…ちゅう…ちゅ、ちゅう…お兄ちゃん…お兄ちゃあん♡」

014 「華穂ね、んう…ちゅっ…前…お兄ちゃんに抱いてもらった時から、

あの時のこと…ずっと忘れられなくて…ちゅう…ちゅっ」

015 「お兄ちゃんのこと…想って、その…何回もしちゃってるの」

016 「ふふっ…お兄ちゃんもそうなんだあっ？♡

んう、ちゅっ…ちゅ…ちゅうちゅう」

017 「お兄ちゃんと華穂…両想いだあっ♡

んう…ちゅっ…ちゅっ…ちゅう…はあ…はあ」

／読み方…今朝〓けさ

018 「今朝もね…んちゅっ…ほんとは…寂しかったんだよ、

お兄ちゃんをデートに送り出すの」

019 「お兄ちゃん…ちゅっ、こんなにかっこよくなつてえ、

家族のひいき目なしに…んちゅっ…ちゅうちゅう…かっこいいからあ♡」

020 「華穂にはこんな優しいお兄ちゃんがいるんだあって思うと、

んう…ちゅっ、妹として嬉しいんだけどお…ちゅっ」

0 2 1 「毎日頑張るお兄ちゃんのこと見てたらあ、んう…ちゅっ♡」

0 2 2 「いつの間にか…お兄ちゃんのこと、

ちゅっ…ますます好きになっちゃったんだもん、

んう…ちゅっ…ちゅうちゅう…ちゅぱあっ♡」

0 2 3 「こんなのおかしいよね？ 兄妹なんだけどね…華穂とお兄ちゃん」

0 2 4 「でも…お兄ちゃんのこと、男の人として好きになっちゃったあ」

0 2 5 「お兄ちゃん♡ 華穂を…んう…ちゅっ…ちゅう、

お兄ちゃんの彼女にしてくれるう？」

／少し間

0 2 6 「ふふっ♪ …そっかあ、華穂とお兄ちゃん、両想いなんだあ♡」

0 2 7 「んうっ…♡ ちゅっ…ちゅう…ちゅう、おにいちゃん、

しゅきい♡ …ちゅっ…ちゅう」

028 「お兄ちゃん、んう…ちゅうちゅう、華穂のこと…抱いてえ？」

029 「華穂のことお、お兄ちゃんの1番にしてえ？♡ ちゅっ…ちゅう」

030 「もう…他の女の子のこと…考えられなくなるくらい、

ちゅっ…ちゅうちゅう…華穂のことお兄ちゃん色に染めていいからあつ」

031 「んう、ちゅっ…ちゅっ…ちゅっ、好き♡ 大好きだよ…お兄ちゃん♡」

■シチュ..お兄ちゃんと結ばれて本気セックス プレイ内容..恋人セックス(正常位)

○場所..玄関 時間..夕方

032「お兄ちゃん:今日の華穂ちゃんレッスンはあ、恋人と愛し合うこと:だよ♡」

033「お兄ちゃんとのエッチ、

流石にみんなに見せるわけいかなから:限定公開だけだよ」

034「お兄ちゃん、んう♡ ちゅっ、好きい:大好きい♡」

035「華穂お:お兄ちゃんには幸せになってもらいたいから、

これまでモテるためのテクとか:色々教えてきたけどお、

んう:ちゅっ:ちゅっ:ちゅっ:ちゅっ:あっ♡」

036「そんなのお:ちゅっ、お兄ちゃんのことを好きじゃないとお、

わざわざしないよお♡」

037「お兄ちゃん:ちゅきい:いっぱいちゅきい♡」

／＼ディープキス 水気…普通 速度…普通

0 3 8 「んれえ…れるれるれる…ちゆるっ、れる…れるれろお…ちゅぱあっ」

0 3 9 「んふふっ、おにいちやあん…好き…好きだよお」

0 4 0 「れろお…えろえろえろお…ちゆるう、んう…れるれるれろお…れるちゅっ」

0 4 1 「お兄ちやあん…んう…ちゅっ…さつきから華穂の太もみにい、

硬くてあつついの当たってるよお」

0 4 2 「んうちゅう…れるれろれろお、ちゆる、

れるれる…れろれろれろお…ちゅぱあっ」

0 4 3 「華穂もお…んう…ちゅっ…お兄ちゃんに求愛されてえっ、

ちゅうちゅう…膣キュンしちゃってるのお」

0 4 4 「お兄ちやあん、んうちゅっ…ちゅうちゅう…早く…挿れてえ？♡」

(SE…脱衣音 二人分)

／次セリフに合わせ、キスしながら脱ぐ

045 「んう…ちゅっ…えるれるう、ちゅる…れるれるる」

046 「華穂お…お兄ちゃんと…一つになりたいのお♡

はぁはぁ…おちんちん…華穂にちようだい？」

(SE .. 挿入音)

047 「んうううつつ!? お兄ちゃんが、入ってきたあっ♡♡」

／読み方…腔内Ⅱなか

048 「華穂の腔内あ、お兄ちゃんの形…教えこまれちゃってえ♡」

049 「お兄ちゃん専用の妹おまんこになっちゃってるよお♡」

(SE .. 抽送音 水気 .. 普通 速度 .. 普通 ループ)

// 感じ度合い .. 普通 喘ぎ声 .. 感じている

// 以降、通常表記セリフも突かれながら話す。指示あるまで継続

050 「おにいちやあん...いいよお...いっぱい突いてえっ?♡

華穂のおまんこ...おちんちんでいっぱいにしてえっ」

051 「ああっ...ああっ...ああっ...あああっ♡

んうっ...ああっ...ああっ...ああっ...ああんっ♡」

052 「はああ...はああっ、お兄ちゃんったらあ...いきなり...激しいんだからあっ」

053 「ああっ...ああっ...ああっ...あああっ、いい...よおっ?

お兄ちゃんうっ、ああっ...ああっ...ああっ♡

華穂のことおっ...好きなように...犯してえっ?」

054 「ああっ...ああっ...ああっ...ああっ、華穂...ねえっ?

お兄ちゃんから迫られるの...好きなのおっ、

ああっ...ああっ...ああっ...ああんうっ♡」

／＼読み方…お股Ⅱおまた

055 「お兄ちゃんが…ああっ…ああっ…あああっ♡

華穂のこと女としてみてくれてるんだあっ、って思うとお、

お股キュンキュンしちゃうううっ！」

056 「ああっ…ああっ…ああっ…ああっ♡ お兄ちゃんう…おにいちゃあんうっ」

057 「ああっ…ああっ…ああっ…あああっ、はあっ、

ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああんうっ」

／＼読み方…膣内Ⅱなか

058 「カリ首…があっ…華穂のおまんこ…ズンズンするたびいつ、

膣内の色んなところ擦れてえっ…ああっ…ああっ…ああっ♡

気持ちいいトコ…当たってるのおっ」

(SE .. 抽送音 水気..多め 速度..速め ループ)

// 感じ度合い..やや強 喘ぎ声..やや強く感じている

059 「ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああんっ！ 速くなったあっ♡

ああっ、ああっ！ お兄ちゃん！ お兄ちゃんう！

イきそうなの？ 精子、出ちやいそうなのおっ？」

060 「いいよっ？ このまま出してえっ？♡

華穂の子宮にお兄ちゃんのちようだあいっ！」

061 「ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああんっ！

華穂、お兄ちゃんをもっと近くで感じたいのおっ！」

062 「ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ だか…らあっ、

ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！

中に出してえっ！ お兄ちゃあんうっ！」

063 「ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああんっ！♡

華穂もおっ！ もう、イきそうなのおっ」

064 「お兄ちゃんと一緒にいっちゃいそうなおっ!♡」

065 「ああっ! ああっ! ああっ! ああっ!

ねえ? お兄ちゃんう、ちゅう、ちゅうしながら、一緒にいこおっ?

//ディープキス 水気..多め 速度..速め

066 「んう、ちゅう、れるれる、れるれろお、ちゆるう♡

ちゅうちゅう、れるっ、れるれろお、れるちゅっ

//キス中で口塞がり状態なので、喘ぎ声も「んんっ!」で表記

067 「んんっ! んんっ! んんっ! んんうっ!

ちゅう、えるれるれるう♡ んんっ! んんっ! んんうっ!

068 「ん...ちゅう♡ れるれるれろお、ちゅう♡ れるれろっ、ちゆるるるっ♡」

(SE..抽送音 水気..多め 速度..速め ループ ここまで)

//以降、通常表記セリフも突かれながら話す。 終了

／／射精（一回目）

（SE .. 射精音）

／／華穂 絶頂（一回目）

／／イってる最中もキスは継続なので、口塞がり状態

069 「んんんんううつつ！！♡♡ んんんうつ！ んんんうつ♡」

070 「ん…う♡ ちゅうちゅう…れるれるるう、

れるれる…じゆるるっ、ちゅばあ♡ はああ…はああ…はああ…はああ♡」

／／読み方…膣内Ⅱなか

071 「ふふっ、お兄ちゃんもお、華穂の膣内でイっちゃったねえ…はあ…はあ♡」

072 「兄妹なのにい♡ 華穂、またお兄ちゃんに中出しされちゃったあ♡」

はああ…はああ…はああ

073 「お兄ちゃんう、おにいちゃん…おにくちやあん♡」

んう…ちゅっ…えるれる、ちゆるる…ちゅっ…ちゅばあ♡」

／読み方…膣内Ⅱなか

074「ふふっ…お兄ちゃんのおちんちん、まだ膣内でおっきいままだよ？

今もビクンビクンって激しく脈打ってる♡」

075「ねえ…もう一回しよ？♡

もつと激しく、華穂が…気ゝ失っちゃうくらい、

お兄ちゃんとの恋人記念日に、恋人兄妹で本気セックス…したい♡」

076「だから…ね？ お兄ちゃん、華穂のこと…いっぱい愛して？♡」

(SE…抽送音 水気…多め 速度…普通 ループ)

／感じ度合い…強 喘ぎ声…強く感じている

／以降、通常表記セリフも突かれながら話す。指示あるまで継続

077「ああっ…ああっ…ああっ…ああっ♡ イったばかりの敏感おまんこおっ、

ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…気持ち、いいよおっ♡

ああっ…ああっ…ああんっ♡」

078「おまんこからあ…ああっ…ああっ…ああっ♡ 愛液…溢れてきちゃうよお」
ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ♡

079「おちんちんもお…さっきより…もっと硬くなってえっ♡
ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああんうっ♡」

080「妹おまんこお…ああっ、ああっ、ズンズンって…いっぱい突いてくるのおっ、
ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…はあ…はあ…はあ♡」

081「お兄ちゃんのおちんちんって…おっきいからあっ、ああっ…ああっ♡
一番奥まで届いてるのおっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ♡」

082「ズプっズプって突かれるたびっ、ああっ…ああっ…ああっ♡
子宮に当たってるのおっ♡ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！

（SE…抽送音 速度…速め ループ 開始）

// 感じ度合い…強 喘ぎ声…とても感じている

083「ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ はや、いいいっ♡
また、射精しちやいそうなんだあっ？♡」

084 「妹のこと、孕ませるためにいつ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！」

085 「赤ちゃん汁、注ぎ込む準備始めちゃってるんだあっ？♡

ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ はああ、はああっ

086 「ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ お兄ちゃ…んうっ！

いいよおっ？♡ このまま出してえっ？♡

妹の子宮にいつ！ お兄ちゃんの子種ちよくだっいつ♡」

087 「ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！

お兄ちゃんうっ！ お兄ちゃんうう♡♡」

088 「ああっ！ ああっ！ あっ！ ああっ！ ああっ！ ああんっ♡」

089 「華穂、もおっ！ お兄ちゃんに子宮う、グリユグリユ突かれてえっ！

ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ♡

またあっ、アクメきちゃうよおっ！」

090 「ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ はあっ！

ああっ！ ああっ！ ああっ！♡♡♡」

091「あはあっ♡ おちんちん、もう限界なんだあっ？♡ ああっ、ああっ♡

パンパンに膨らんでえっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！

092「もう精子でるうっ！ いっぱいびゅっびゅして、妹のこと孕ませるってえっ、

射精おねだりしてるよおっ？ ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！♡」

093「いいよおっ？ お兄ちゃん、一緒にイこおっ？♡

妹に種付けしてえっ、タマタマの精液出しきっちゃお？♡」

094「ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああんっ！

華…穂おっ、お兄ちゃんに中出し射精してほしいなあっ！

かっこいいお兄ちゃんの姿、もっと思わせて欲しいなあっ！」

095「ああっ！ ああっ！ ああっ！ ああっ！ あああゝっ♡

ダ…メえええっ！ 華穂もうイくうっ！ また、いつちやうからああっっ！」

／／射精（二回目）

(SE .. 射精音 次セリフ、タイミング合わせる)

／華穂 絶頂（二回目）

096 「ああっ♡ ああっ♡ ああっ♡ ああっ♡
イクっ！ イクうつ！

イ
つ
く
う
う
う
う
う
つ
つ
つ
!!
♡
♡
」

以降、通常表記セリフも突かれながら話す。 終了

097 「あああ♡♡♡ あああ♡♡♡ はああ…はああ…はああ♡」

(SE .. 抽送音 水気 .. 多め 速度 .. 速め ループ 終了)

二絶頂後 余韻に浸る。以降、トラック終了までゆっくり目で話す

098 「お兄ちゃんうう♡
またあ…イっちゃったねえ？♡
はああ…はああ♡」

099 「子宮にお兄ちゃんの精液、びゅるびゅるって直接注がれてるの分かるよお♡

はあ
ああ
：
はあ
あ
あ
♡
」

／＼読み方…膣内Ⅱなか

100 「お兄ちゃんの精液、膣内でじわあって広がってるう♡

はああ…はああ…はああ♡

101 「ねえ…お兄ちゃん、ちゅーしょお？♡」

／＼キス 水気…普通 速度…ゆっくり

／＼愛を確かめ合うように

102 「んうう…ちゅっ…ちゅう…ちゅるう…ちゅうちゅう、んう♡

ちゅっ…ちゅっ…ちゅ…ちゅぱあ♡ はあ…はああ♡

／＼恍惚とした表情

103 「お兄ちゃん、んう…ちゅうう♡ 華穂のこと…好きい？」

104 「んふふ♡ 知ってるう♡ んう、ちゅうちゅう…ちゅう…ちゅぱあ♡」

105 「華穂もお兄ちゃんのこと…大好きだよお？♡

ちゅっ…ちゅう…ちゅるっ、ちゅう…ちゅ…ちゅうちゅうう…ちゅぱあ♡」

106 「明日でパパとママ…帰ってきちゃうけど、ちゅっ♡ また…しょ～ね？♡」

107 「華穂お、こんな気持ちいいこと…我慢できないからあ♡」

108 「ちゅっ…ちゅう…ちゅう♡

もちろん、パパたちにはバレないようにだけどお♡

ちゅっ…ちゅっ、ちゅうちゅう…ちゅるるっ…ちゅぱあっ♡」

109 「それでお兄ちゃんが学校卒業したらあっ、二人で一緒に暮らすのお♡

華穂…お兄ちゃんのこと、絶対幸せにするからあ…ちゅっ♡」

110 「華穂たちは兄妹で恋人なんだからあ、それくらい当たり前だよねえ？♡

ん～う、ちゅっ♡ ふふっ♡」

111 「お兄ちゃん？ 大好きだよっ？♡ ちゅっ♡」

■Track 5 終了